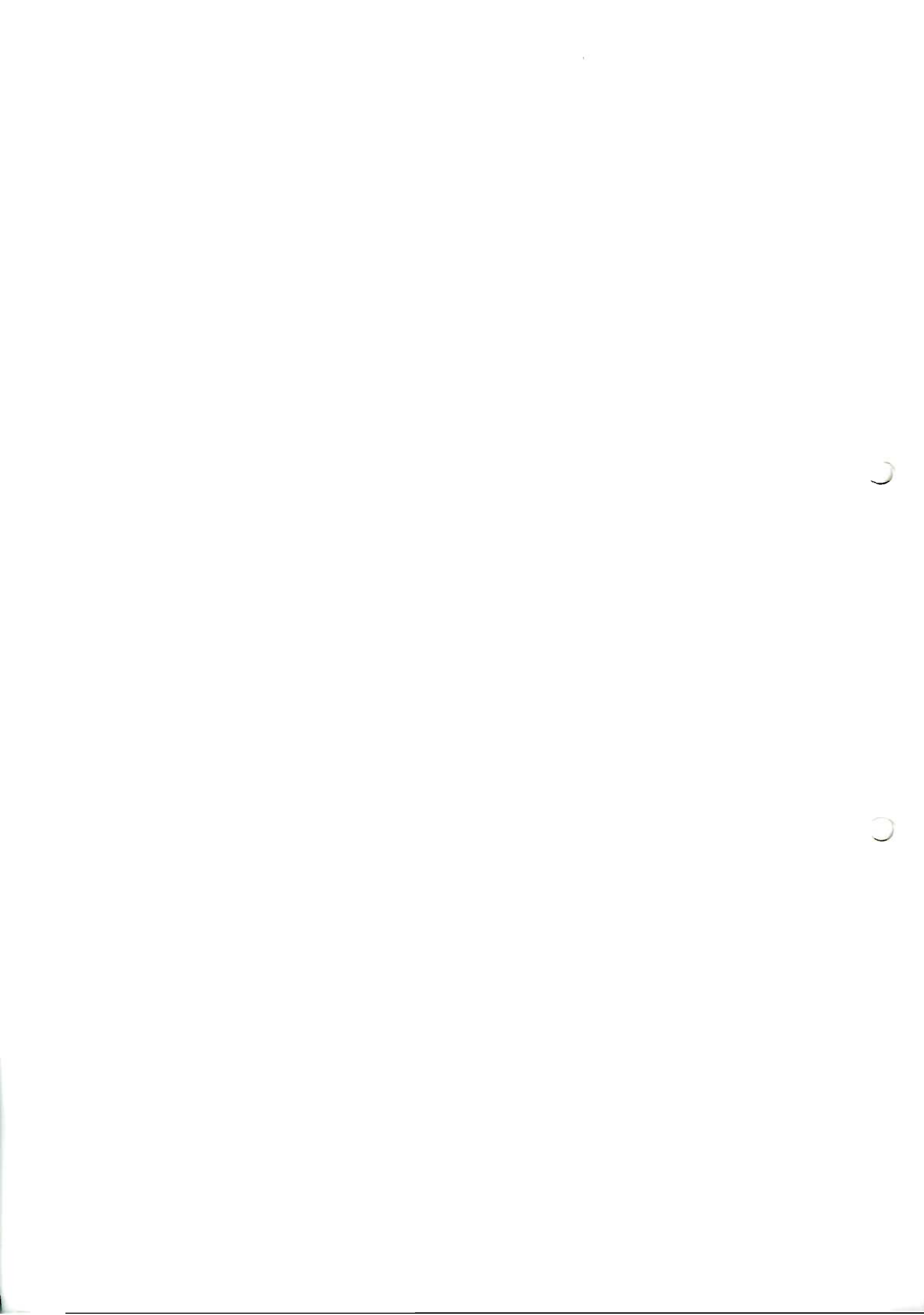


も り
「森林へ行こう」

森林・林業体験学習
プログラム





はじめに

うつくしま21森林づくりネットワークが進める森林づくり運動につきまして、深いご理解とご協力ご支援を賜っておりますことに対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、21世紀は「環境の世紀、森林の世紀」であります。

地球環境保全とりわけ地球温暖化防止が人類共通の大切な課題である今日、温暖化防止に森林が重要な役割を果たすことが注目されており、森林を守り育てることが地球環境を守る大きな力となります。

森林は樹木を中心に多様な動植物がお互いにかかわりあって森林生態系が形成されており、これらを取り巻く水・空気・土・きのこや菌類などととも「生命の循環」を営み、その結果として人々に数多くの様々な恵み（木材・山菜・木の実・きのこ・蜂蜜・酸素・水など）を与えてくれます。

このような森林の持つ多様性・総合性さらには人間生活とのかかわりの中で、森林は他に代え難い最良の野外教育や環境教育の場であります。

このたび、教育の場での総合学習の中で森林・林業への理解を深め、体験学習するためのテキストとする森林・林業体験学習プログラム「森林へ行こう」を作成いたしました。

「森林へ行こう」は、学校において、児童・生徒たちが「森林を見る・遊ぶ・学ぶ・守る・くらす」ことを理解するための先生方の指導用として作成しました。このプログラムを実施するにあたって、「ふくしまもりの案内人」など様々な支援スタッフがお手伝いできます。児童・生徒たちが森林へ行き、自ら体験して、人と自然との深いつながりを学ぶためにご活用いただければ幸いです。

平成16年3月

うつくしま21森林づくりネットワーク
会長 渡辺 一夫

「森林へ行こう」

～森林・林業体験学習プログラム～

目次

A 森林を見る

ページ

A-①-1	木を描こう	お気に入りの木を描く ……………	1
A-①-2	木の葉を調べよう	葉っぱの行く末を調べる ……………	3
A-①-3	土の中を調べよう	木の養分はどこから ……………	5
A-①-4	森林の仲間たち	森林の小動物の紹介……………	7
A-①-5	森林のピラミッド探検隊	ほ乳類、鳥類の命のつながり ……………	9
A-②	森林の美術館	樹木のサンプルで絵画の制作……………	11

B 森林と遊ぶ

B-①	森林を感じよう	春夏秋冬の森林で遊ぶ……………	13
B-②	森林の音楽会	森林の中での音楽活動……………	17
B-③	森林探検基地を作ろう	ツリーハウスを作る……………	19
B-④	春の森林で遊ぼう	草花を観察し、草花で遊ぶ……………	21
B-⑤	山菜採りに行こう	山菜を採り、料理する……………	23
B-⑥	森林の木エクラフト	小枝で作るクラフト工作……………	25
B-⑦	夏の森林で遊ぼう	五感で夏を感じる……………	27
B-⑧	秋の森林で遊ぼう	木の実で遊ぶ……………	29
B-⑨	秋の森林で動物になってみよう	秋の森林で遊ぶ……………	31



C 森林に学ぶ

C-①	春の森林の昆虫に会いに行こう	春の森林の昆虫との出会い	33
C-②	森林のはたらき	森林の働きを調べる	35
C-③	川の水はどこから	川の水の秘密を探る	37
C-④	森林の体験学習	森林との共生を自然の中で体験	41
C-⑤	昆虫の森林の夏	夏の森林の昆虫への感動	43
C-⑥	森林のレストラン見学会	命と命を結ぶ糸	45
C-⑦	土の中の小動物ときのこと	秋の森林のきのこ探し	47
C-⑧	冬の森林の探偵団	生き物の冬越し	49

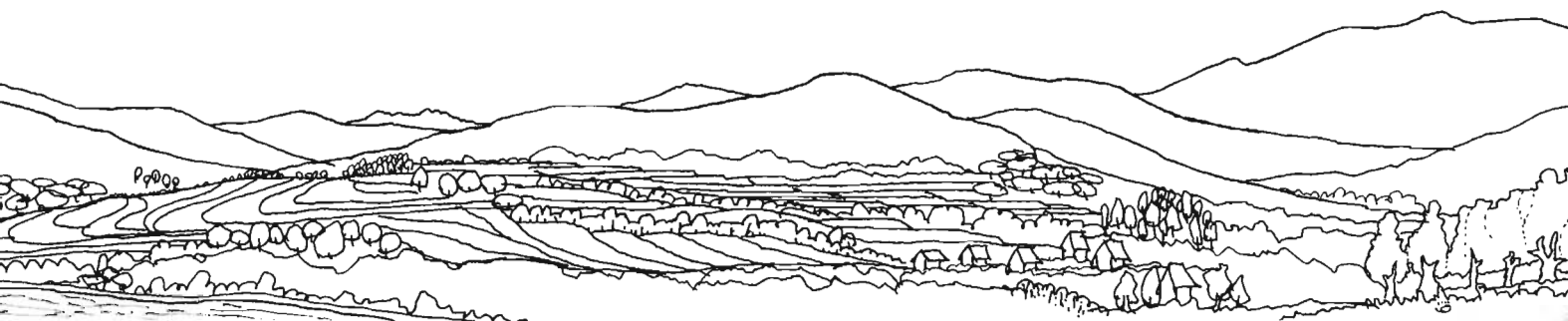
D 森林を守る

D-①	森林を育てる(1)	森林のもつ働き	51
D-①	森林を育てる(2)	人工林の手入れ	53
D-②	植林をしてみよう	植林体験	55
D-③	下刈りをしてみよう	下刈り体験	57
D-④	枝打ちをしてみよう	枝打ち体験	59
D-⑤	森林整備活動体験	間伐体験など	61

E 森林にくらす

E-①	森の恵み	樹木の働きと人間とのかかわり	65
E-②	森林を食べに行こう	森林の食材・山菜探し	67
E-③	森林を料理して食べよう	秋の森の味覚を楽しむ	69
E-④	炭のはたらき	炭焼き体験	71

参考資料	75
問い合わせ先・支援スタッフ	76
参考データ掲載ホームページ(抜粋)	77
委員名簿	78





この『**森林へ行こう**』の冊子は、全国第4位の森林面積を有している福島県が森林に遊び・学び・働き・守り・暮らすを柱に『森林との共生』を掲げて推し進めていくためのガイドとなるよう具体的に解説したマニュアルです。

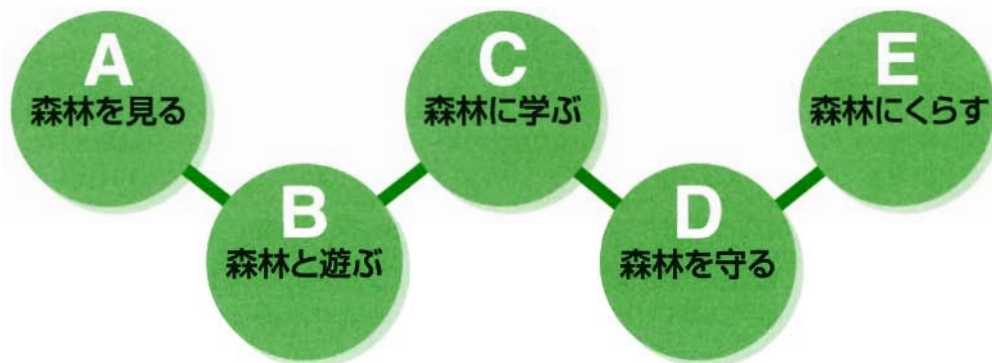
特に『森林との共生』は子どもの頃からのふれあいが大切であるという考えを基に子どもたちのために適切な指導や配慮が多く盛り込まれております。

子どもたちは森林にはいるだけで、ひとりでの遊び・学ぶことができる能力を有しております。しかしそれだけでは子どもたちが気づかずに通り過ぎてしまうことが多いのです。

より多くの『森林との共生』を進めるためには、森林の指導者が不可欠です。それによってより効果的で広く深い内容の学習が期待できると思います。

そこで、この冊子は森林の学習者及び指導者のために具体的で分かりやすい参考資料となるよう配慮いたしました。

項目は次の5つに分けて編集してあります。



そこで、この5項目ごとに学習のねらい、学習の活動計画、関連教材、参考資料、学習活動例等が森林との共生の学習として森林の中での活動に広く利用できる情報を盛り込んであります。

なお、普通の場合、「森林」はしんりんと読みますが、ここでは親しみをこめてもりと読むことにしてあります。

より充実した森林との学習のためにご活用されることを期待しております。